



秋田大学医学部附属病院
緩和ケアセンター

秋田大学医学部附属病院

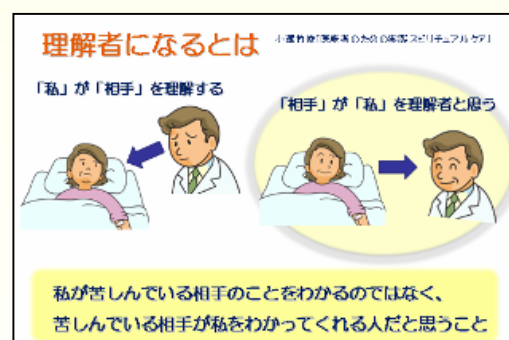
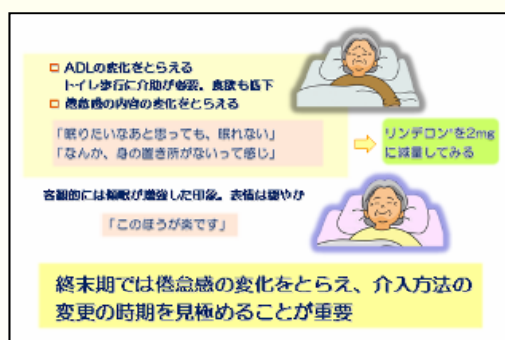
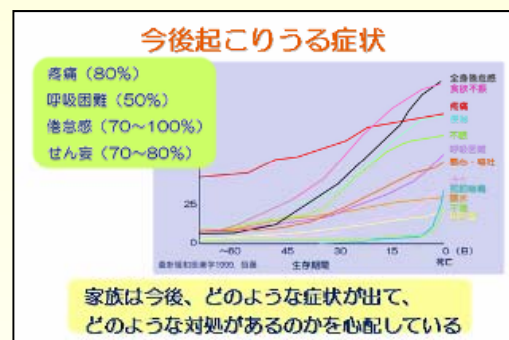
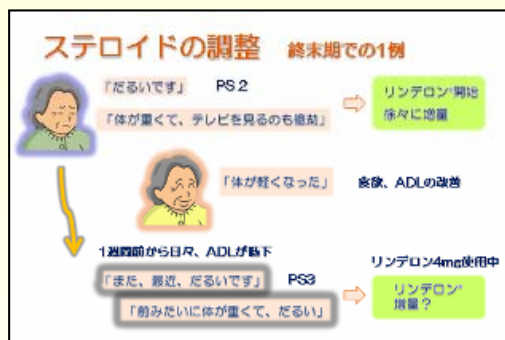
緩和ケアだより

平成22年度 第1号（平成22年9月3日発行）

第1回院内緩和ケア研修会が開催されました

7月30日（金）、第二病棟多目的室にて、院内緩和ケア研修会が開催されました。埼玉県立がんセンター 緩和ケア病棟 医長 松尾 直樹 先生より、「緩和ケア病棟で学んだ終末期の症状緩和」と題して、様々な薬の使い方や患者さんとのコミュニケーションなどについて実際の症例をまじえてご講演いただきました。

緩和ケアセンターでは、今年度計4回の院内緩和ケア研修会の開催を予定しております。ぜひご参加ください。



緩和ケアQ&A オピオイドローテーションの方法、ご存知ですか？

Q1. 12時間徐放性オピオイド(オキシコンチン、MSコンチン)⇒デュロテップMTパッチへのローテーション方法は？

Q2. デュロテップMTパッチ⇒オピオイド持続注(モルヒネ、フェンタニル)へのローテーション方法は？

答えは
裏に
あります



緩和ケア研修会2010

平成22年度秋田大学医学部附属病院緩和ケア研修会2010が、7月10日(土)(セッションA)と7月11日(日)(セッションB)の2日間にわたり、当院大会議室にて開催され、午前はがん性疼痛の評価と治療、身体症状や精神症状に対する緩和ケア、地域連携などの講義が、午後は小グループに分かれての事例検討や、ロールプレイなどが行われました。

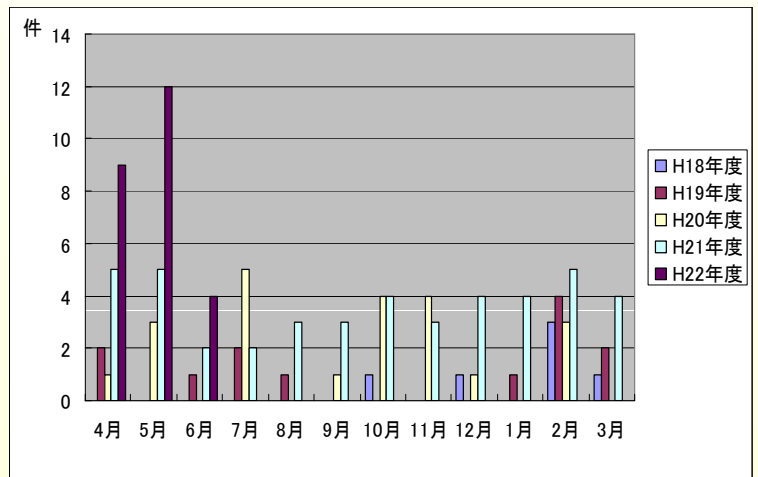
本研修は、がん対策推進基本計画を受けて、日本緩和医療学会で開発した「症状の評価とマネジメントを中心とした緩和ケアのための医師の継続教育プログラム」PEACE(Palliative care Emphasis program on symptom management and Assessment for Continuous medical Education)に基づいて実施されています。

来年2月も同様の研修会の開催を予定しておりますので、未参加の方、興味のある方、そしてさらに多くの医師の参加をお待ちしております。

依頼件数の推移

緩和ケアに対する皆様のご理解もあり、緩和ケア依頼件数は年々増加しています。特に今年度は前年度までを大きく上回るペースで依頼がきています。

患者さんの苦痛を少しでも軽減するために、さらなる依頼をお待ちしております。



緩和ケアQ&Aの答え

デュロテツMTパッチは効果発現時間、消失時間ともに約12時間かかるので、ローテーション時には注意が必要です！

Q1. 最後の内服と同時にパッチを貼付、以降内服は中止

Q2. 色々な方法がありますが、そのうちのひとつをご紹介します。

例)パッチを剥がす→6時間後、オピオイド持続注を半量で開始→さらに6時間後、通常量へアップ

(デュロテツMTパッチ8.4mg⇒塩酸モルヒネ注60mgへのローテーションの場合:

パッチを剥がす→6時間後、塩酸モルヒネ(60mg/6mL + 生食42mL)を1mL/hrで開始→さらに6時間後、2mL/hrにアップ)

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアセンター

TEL:6223

メールアドレス:kanwa-t@hos.akita-u.ac.jp

